

入札監理小委員会における審議の結果報告

中央畜産研修施設管理・運営事業

(独)家畜改良センターにおける中央畜産研修施設管理・運営事業については、平成 21 年 4 月から 3 年間の契約期間として民間競争入札による事業を実施しているところ。契約期間終了後の平成 24 年 4 月からの事業については、3 年間の複数年契約により民間競争入札を実施する旨、公共サービス改革基本方針(別表)に定められている。(2 期目)。

これに基づき、当該民間競争入札の実施要項(案)を入札監理小委員会において審議を行ったので、その結果を以下のとおり報告する。

1 入札参加資格について(実施要項 8 頁、19 頁)

【論点①】

競争性確保の観点から、改善策を講じられないか。

【対応】

- 落札者決定にあたり、業務実績を必須項目で評価していたが、加点項目で評価することとした。

また、入札参加資格要件の一つである「各省庁の全調達機関において有効な統一規格における業務分類「役務の提供等」において、「A」、「B」又は「C」に格付けされている者であること。」を「A」、「B」、「C」又は「D」に格付けされている者」に拡大した。

2 落札者を決定するための評価の基準について(実施要項 19 頁)

【論点②】

加点項目における、業務の質についての提案内容のうち、「実施可能な体制の確保」の有無について、適切な評価を行うために再度整理すべき。

【対応】

- 必須項目における実施可能な体制の確保との違いを明確化し、加点項目においては関連する業務の実績の有無と併せて「質を向上させるための実施可能な体制の確保」の有無について評価することとした。